

次世代IPネットワーク国際競争力強化

ICT国際競争力会議・次世代IPネットワーク分科会における議論を経て、2007年11月に「次世代IPネットワーク国際競争力強化基本戦略」を策定した上で、「基本戦略」の具体的実施計画として取りまとめた「次世代IPネットワーク国際競争力強化アクションプラン07」に基づき活動を実施。

アジア各国への官民ミッション派遣

アジア各国(ベトナム、マレーシア、インドネシア、中国、シンガポール)に対して、その国における次世代IPネットワーク導入促進に向け、官民一体となって相手国主管庁等との意見交換やセミナーを実施し、日本の次世代IPネットワーク技術等を広く紹介。

- ◆ ベトナム(2007年6月、2008年3月、4月)
- ◆ マレーシア(2007年6月)
- ◆ インドネシア(2007年9月)
- ◆ 中国(2007年10月)
- ◆ シンガポール(2007年10月)

アジア次世代IPネットワーク基盤整備プロジェクトの推進

国際的な共同実証実験・相互接続性検証プロジェクトの実施。

- ◆ ベトナムにおける日越共同国際技術調査の実施(2008年1月～2月)
- ◆ 日中韓における次世代IPネットワーク(NGN)標準化テストベッドによる共同実証・相互接続検証(次世代IPネットワーク(NGN)基盤技術の研究開発)(2008年3月～)

人材育成方策・国際標準に関する戦略的取組の強化

アジア太平洋各国のICT主管庁や通信事業者から職員を研究生として日本に招聘し、総務省、我が国通信事業者、メーカ及び研究機関より、次世代IPネットワークに関する政策、技術等に関する講義、関連施設の視察を実施。人材育成を通じて、各国との連携・協調の推進に貢献。

また、国際・アジア地域の標準化会合の機会を捉え、我が国主導による次世代IPネットワークに関する標準化を推進。

ベトナム情報通信省タン副大臣等との意見交換(次世代IPネットワーク分野)

ベトナムにおける次世代IPネットワークの普及・展開に向けて岡本政務官がベトナム情報通信省タン副大臣と意見交換を実施。さらに、官民による専門家ミッションも派遣され両国協力の具体化に向けた意見交換を実施。

1 情報通信省タン副大臣との意見交換

- (1) 日時・場所: 2008年3月20日(木) ベトナム(ハノイ)
- (2) 出席者: (当方) 岡本政務官、田中電波部長他
(先方) タン副大臣、ファン国際協力局次長、ニャー電気通信局次長他
- (3) 概要
 - ◆ タン副大臣より、NGN分野の技術革新は著しいことから、ベトナムにおけるNGNインフラの整備に向けて、日本のノウハウを必要とする旨の協力依頼があった。
 - ◆ 岡本政務官から次世代IPネットワーク(NGN)に関して、NICTとVNPTとの間で技術協力を行っている事等、菅前総務大臣訪越後のNGN分野における日ベトナム協力の更なる拡大について発言。



2 情報通信省との意見交換

- (1) 日時・場所: 2008年3月31日(月) ベトナム(ハノイ)
- (2) 出席者: (当方) 総務省、NTT、NEC、インテック・ネットコア他
(先方) 電気通信局、国際協力局
- (3) 概要: ベトナム側より、①ネットワークの高度化に対する対応方法、②国内のデジタルディバイドの解消方法、③ネットワークの品質向上の方策等について日本における取組には関心を持っている旨発言。今後とも情報交換・意見交換していくことで合意。

3 ベトナム郵電会社(VNPT)グループとの意見交換

- (1) 日時・場所: 2008年4月1日(火) ベトナム(ハノイ)
- (2) 出席者: (当方) 総務省、NTT、NEC、インテック・ネットコア他
(先方) VNPT、CDiT、VDC
- (3) 概要: ベトナム側より、現行ネットワークでは、アクセス部分・アプリケーション部分の品質に問題あり。引き続きネットワークの高度化に対する情報交換・音目交換が要望された。



新世代ネットワークに関する国際連携・標準化の推進

- ◆ 研究者レベルから政府レベルまで、様々なチャネルを用いた国際連携(議論・交流等)を推進。
- ◆ 将来における国際標準化への展開を見据え、研究開発段階から海外の大学、研究機関、企業等との連携を強化。



日米将来ネットワークワークショップ
(平成20年10月31日～11月1日、米国・パロアルト)



第1回日EU新世代ネットワーク共催シンポジウム
(平成20年6月9日～10日、ベルギー・ブラッセル)

- EU、アメリカ等諸外国との政策協議を実施。今後も同様な政策協議を適宜実施していく予定。
- 「第2回日EU・ICT研究協力フォーラム」において、新世代ネットワークに関するセッションを設け、日EU間の連携強化を図ることを確認。
- 2008年6月に第1回日EU新世代ネットワーク共催シンポジウム(主催:欧州委員会、情報通信研究機構)をブラッセルにて開催。それに続く第2回の共催シンポジウムを、本年10月13日に東京で開催。
- ITU-T SG13から派生した将来ネットワークに関するフォーカスグループ(FG-FN)の設立に貢献(日本から議長を輩出)。本年6月の第1回会合では日本から12名が参加し、5件の寄書を提出。
- 2008年6月に、韓国Future Internetフォーラム主催の国際フォーラムCFI08(Intl. Conf. on Future Internet Technologies)に参加し、アーキテクチャ、仮想化などを議論。
- 2008年10月に日米将来ネットワークワークショップ(主催:米国NSF、情報通信研究機構)を米国パロアルトにて60名規模で開催し、研究者交流を図るとともに連携強化を確認。共同研究の具体化に向け、本年12月に第2回の共同ワークショップを開催予定。